

令和 6 年度  
第7回 北上川水系(北上川上流)流域治水協議会



## 流域治水プロジェクトに関する活動報告について

令和7年2月12日  
岩手河川国道事務所

## ◆第1回流域治水協議会(令和2年9月16日開催)

### 1. 協議会の目的

本協議会は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による今後の水害の激甚化・頻発化に備え、北上川水系北上川上流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

## ◆第2回流域治水協議会(令和3年2月10日開催)

1. 北上川水系(北上川上流)流域治水プロジェクトとりまとめ(案)
2. 北上川水系(北上川上流)流域治水宣言(案)

## ◆北上川水系流域治水プロジェクト(令和3年3月30日策定・公表)

## ◆第3回流域治水協議会(令和3年11月11日開催)

1. グリーンインフラの取組を追加した流域治水プロジェクトの公表に向けて

## ◆第4回流域治水協議会(令和4年3月25日開催)

1. 流域治水プロジェクトの更新(案)について

## ◆流域治水×グリーンインフラ(令和4年3月改訂・公表)

## ◆第5回流域治水協議会 幹事会(令和4年6月30日開催)

1. 流域治水プロジェクトの推進メニューの検討・更新について

## ◆北上川上流ほか流域治水 意見交換会(令和4年12月15日開催)

1. 各市町実務担当者による意見交換会(勉強会)を開催

## ◆第6回流域治水協議会 幹事会(令和5年1月25日開催)

1. 流域治水プロジェクトのフォローアップ方法について(提案)

## ◆第5回流域治水協議会 (令和5年2月10日開催)

1. 流域治水プロジェクトのフォローアップ方法について(確認・取組開始)

## ◆第7回流域治水協議会 幹事会(令和5年12月22日開催)

1. 流域治水プロジェクト2. 0及び自分事化に向けた取組計画の公表に向けて

## ◆第6回流域治水協議会 (令和6年2月19日開催)

1. 流域治水プロジェクト2. 0及び自分事化に向けた取組計画の公表に向けて

## ◆第8回流域治水協議会 幹事会(令和6年12月19日開催)

1. 流域治水推進のために取り組むべきこと及び令和6年度活動実績報告について

## ◆第7回流域治水協議会 (令和7年2月12日開催)

1. 令和6年8月出水について及び流域治水プロジェクトに関する活動報告について

○北上川上流では、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」をより推進するための協議・情報共有を行うことを目的とし、今年度の活動内容や中津川、米内川の出水概要について報告を行いました。

## 開催日時・場所

- 開催日：令和6年12月19日（木）  
対面Web会議併用方式
- 開催時間：15：30～17：00
- 開催場所：岩手河川国道事務所 2階大会議室

## トピック

- 流域治水プロジェクト2.0、自分事化に向けた取組計画
- 流域治水協議会グループ別会議の実施報告
- 流域治水に関するアンケートの結果報告
- 令和6年8月出水の概要及び盛岡市での対応について

## 出席者

盛岡市ほか流域自治体（計15市町）  
東日本旅客鉄道株式会社、盛岡森林管理署、  
北上土地改良調査管理事務所、国立研究開発法人  
森林研究・整備機構 森林整備センター盛岡水源林整備事務所、  
岩手県県土整備部、岩手県農林水産部、  
盛岡地方気象台、北上川ダム統合管理事務所、  
岩手河川国道事務所

合計 対面参加31名、WEB参加25名

## 主な議事内容

- 流域治水プロジェクト2.0への更新に向けて必要となる追加対策案の内容や実施予定に関して報告するとともに、流域治水プロジェクトの自分事化に向けた各主体ごとの取組内容に関して紹介。
- 令和6年度のグループ別会議の活動内容と合わせて各グループごとの参加者からいただいた主な意見に関して報告。
- 北上川上流域の15市町及び岩手県の職員を対象として実施した流域治水に関するアンケート結果を報告し、今後の流域治水対策を行ううえでの課題、対策案に関して整理し次回協議会においても報告することとした。
- 令和6年8月の中津川、米内川での出水概要に関して国、県から報告。また、盛岡市での出水直後から現在に至るまでの対応状況、今後の復旧対策実施予定に関して情報共有を行いました。

## 開催状況



岩手河川国道事務所 所長あいさつ



開催状況

## 令和6年度 流域治水に関する活動報告

- ① 北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 グループ別会議
- ② 流域治水に係る自治体職員向けアンケートの実施
- ③ 「令和7年度 自分事化に向けた取り組み計画」の策定

# ① 第1回 グループ別全体会議

- 北上川上流では、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」をより推進するため、「北上川水系（北上川上流）流域治水協議会」の実務担当者向け会議として、「グループ別会議」を実施しています。
- 今年度1回目の開催であったことから、流域治水に関するこれまでの取組状況を各構成機関から共有していただき、流域治水に関する予算補助制度などについて学びました。

## 開催日時

- 開催日：令和6年6月21日（金）（Web併用）
- 時 間：14:00～16:00
- 場 所：いわて県民情報交流センター（盛岡市）

## 出席者

### ◆流域自治体

- ・岩手町・八幡平市・滝沢市・雫石町・盛岡市
- ・矢巾町・紫波町・花巻市・北上市・遠野市
- ・西和賀町・金ヶ崎町・奥州市・平泉町・一関市

### ◆その他 構成委員等

- ・岩手河川国道事務所・北上川ダム統合管理事務所
- ・東北地方整備局 河川部・東北地方整備局 建政部
- ・岩手県 県土整備部・岩手県 農林水産部
- ・東北農政局 北上土地改良調査管理事務所
- ・林野庁 盛岡森林管理署
- ・森林整備センター 東北北海道整備局
- ・盛岡地方気象台
- ・東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社

合計 対面参加90名、WEB参加50名

## 参加者からの主な意見

- 流域治水に関して色々な取組みがあることがわかった。
- 田んぼダムについて、自治体単位で取り組むよりも、農業者や河川管理者および自治体と一緒に検討する場があれば取組が進むのではないかと思う。
- このグループ別会議は複数のグループに分かれ、グループ毎に取組状況や課題について議論していくが、有識者の方々からもアドバイスや意見等を頂くことが望ましい。

## 開催状況



会議の様子



岩手河川国道事務所  
副所長あいさつ

- 北上川上流では、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」をより推進するため、「北上川水系（北上川上流）流域治水協議会」の実務担当者向け会議として、「グループ別会議」を実施しています。
- グループ1（田んぼダムほか）では、田んぼダムに積極的に取り組んでいる宮城県大崎市を訪問し、大崎市の田んぼダム担当者や農家の方との意見交換や田んぼダム実証実験箇所の見学を行い、推進のためのノウハウ等を学びました。

**開催日時**

- 開催日：令和6年9月5日（木）
- 時 間：13:30～16:00
- 場 所：志田谷地防災センター(宮城県大崎市)  
大崎市内 田んぼダム実証実験箇所

**出席者**

- ◆流域自治体  
岩手町、滝沢市、雫石町、一関市
- ◆その他 構成委員等  
北上土地改良調査管理事務所、  
岩手県 県土整備部、岩手県 農林水産部  
岩手河川国道事務所

合計 対面参加18名

**大崎市による説明**

- 大崎市では水害が頻発しており、水害対策の一環として、農家の方の協力に基づいて、田んぼダムの取り組みを実施。
- 宮城県と協力し、田んぼダム実証コンソーシアムを立ち上げるにより普及を図っている。
- 田んぼに設置する堰板の購入費用は市で予算化している。
- 農家の方には営農に支障のない範囲で実施してもらっている。

**参加者からの主な意見**

- 田んぼダムの取組みの事例や、実際に取組むことにより判明した難しさ、現地での苦労話など非常に勉強になった。
- 岩手県においては田んぼダムの取組みがまだ進んでいないので、今後田んぼダムの取組みを推進するうえで今回の協議会で学んだことを大いに参考にしたい。

**田んぼダム取り組みを支援します。**

市では、田んぼダムに取り組む地域に、資材の提供を行っています。  
詳しくは、大崎市産業経済部農林振興課までお問い合わせください。

**地域みんなで取り組みましょう！**

大崎市産業経済部農林振興課



意見交換の様子



田んぼダム現地視察の様子

# ① 第2回 グループ別会議 【グループ個別(河道掘削 他)】

○北上川上流では、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」をより推進するため、「北上川水系（北上川上流）流域治水協議会」の実務担当者向け会議として、「グループ別会議」を実施しています。

○グループ個別（河道掘削ほか）では、自治体の治水対策に関する取組状況を共有していただき、治水対策に関する懸案事項や地域住民からの意見等について意見交換を行いました。

## 開催日時

- 開催日：令和6年9月20日（金） Web併用
- 時 間：10:00～11:30
- 場 所：盛岡市地域交流センターマリオス

## 出席者

- ◆流域自治体  
滝沢市、花巻市、奥州市、一関市
  - ◆その他 構成委員等  
森林整備センター 東北北海道整備局  
岩手県 県土整備部  
岩手河川国道事務所
- 合計 対面参加10名、WEB参加5名

## 開催状況



岩手河川国道事務所  
流域治水課長 あいさつ



開催状況

## 自治体の取組状況

- 総務省の起債制度である緊急自然災害防止対策事業債と緊急浚渫推進事業債を活用し、護岸整備や浚渫を行っている。（花巻市、奥州市、滝沢市）
- 社会資本整備総合交付金、防災安全交付金による補助を活用し、河川改修、下水道整備を行っている。（滝沢市）

## 参加者からの主な意見

- 総務省の緊急自然災害防止対策事業債と緊急浚渫推進事業債は時限措置となっているが、自治体にとって使い勝手がいいため、ぜひとも継続していただきたい。
- 実施した河川整備のおかげで、住民の方から安心するという意見もいただいている。
- 流域治水に関するパネル展示等を実施すると住民の方が事業へ理解しやすくなるのではないかと考えている。展示等に関して国土交通省や岩手県と協力して行っていきたい。
- 局所的な大雨が増えているということもあるので、すべてがハード対策で賄えるとは思わないが、やはりハード対策で一定の効果は必ずあるため、引き続き治水対策をおこなっていきたい。

○北上川上流では、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」をより推進するため、「北上川水系（北上川上流）流域治水協議会」の実務担当者向け会議として、「グループ別会議」を実施しています。

○グループ2（浸水被害防止区域ほか）&グループ3（居住誘導区域ほか）では、立地適正化計画等に関する自治体の取組状況を共有していただくとともに、住居の浸水リスクに対する考え方等について意見交換を行いました。

## 開催日時

- 開催日：令和6年9月20日（金） Web併用
- 時 間：13:30～15:00
- 場 所：盛岡市地域交流センター マリオス

## 出席者

- ◆流域自治体  
滝沢市、雫石町、盛岡市、紫波町、花巻市、  
北上市、西和賀町、奥州市、一関市
- ◆その他 構成委員等  
東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社、  
岩手県 県土整備部、岩手県 農林水産部、  
岩手河川国道事務所  
合計 対面参加21名、WEB参加11名

## 開催状況



岩手河川国道事務所  
流域治水課長 あいさつ



開催状況

## 自治体の取組状況

- 立地適正化計画の防災指針に関するパンフレットを作成し、市民への周知に努めている。（盛岡市）
- 立地適正化計画の防災指針に記載のある事項の事業化に向けて検討を進めている。（奥州市）
- 避難所につながる箇所となっているアンダーパスに浸水深を示す標識等を設置している。（矢巾町）

## 参加者からの主な意見

- 将来的に安全なまちづくりを進めるためにも、立地適正化計画のような計画を持ちながら事業展開していくことが望ましい。
- 浸水リスクの高い地域に住居が多く存在しているため、ハザード情報やリスク等に関して理解したうえで住民に住んでいただく必要があると考えている。
- 降雨規模ごとの浸水リスクを示した水害リスクマップの作成や、災害ハザードマップについてWEB上での公開等を行っているため、民間業者や地域住民に積極的に周知していただきたい。

# ① 第2回 グループ別会議 【グループ4（リスク空白域の解消 他）】

- 北上川上流では、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」をより推進するため、「北上川水系（北上川上流）流域治水協議会」の実務担当者向け会議として、「グループ別会議」を実施しています。
- グループ4（リスク空白域の解消ほか）では、自治体の住民避難に関する取組状況について共有していただき、ハザードマップや避難計画作成時の留意点等について意見交換を行いました。

## 開催日時

- 開催日：令和6年9月20日（金） Web併用
- 時 間：15:30～17:00
- 場 所：盛岡市地域交流センターマリオス

## 出席者

- ◆流域自治体  
岩手町、八幡平市、滝沢市、盛岡市、紫波町、花巻市、北上市
- ◆その他 構成機関  
盛岡地方気象台、岩手県 県土整備部  
岩手河川国道事務所

## 開催状況



岩手河川国道事務所 流域治水課長 あいさつ



開催状況

## 自治体の取組状況

- 防災マップの中にため池に関するハザードマップの情報も入れている。（八幡平市）
- 洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域の要配慮者利用施設にて作成する避難確保計画についてチェックリストを作成し、確認と助言を行っている。（盛岡市）
- ワンコイン浸水センサについて、岩手大学と設置に向けて準備を進めているところ。（盛岡市）
- 避難のための情報発信ということで、防災無線での情報発信と、あとは市の公式LINEの運用を行っている。（八幡平市）

## 参加者からの主な意見

- 想定最大規模の浸水想定などでは浸水エリアが非常に広がるため、避難先を遠くに設定する必要があるものの、移動距離が長い点が逆に危険なのではないかという意見が住民説明会等でよく出る。
- 避難計画策定の際には、避難所までの避難方法という点に関しても考慮することが重要である。

## ② 流域治水に関するアンケートの実施

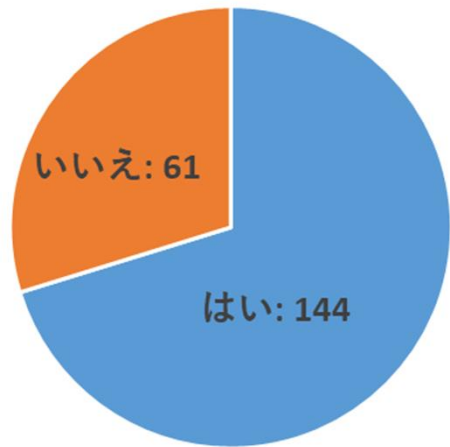
流域治水協議会の開催や流域治水プロジェクト・水害リスクの自分事化の取組計画の策定など様々な「流域治水」に関する取り組みをこれまで行ってきたことから、岩手県内(北上川上流域)における流域治水の認知度について把握することを目的として、流域自治体職員を対象に『流域治水に関するアンケート』を実施。

○アンケート対象 … 北上川上流域の自治体職員(担当外職員も含む)＋岩手県職員

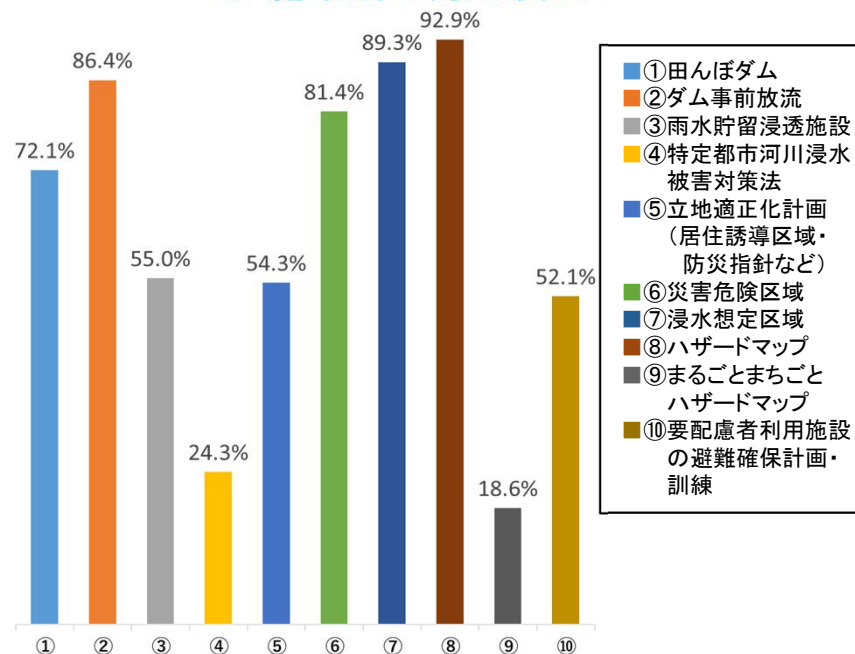
○回答数 … 205件(農村部局、建設部局、都市整備部局、市民部局、保健福祉部局 ほか多数)

### ＜アンケート結果＞

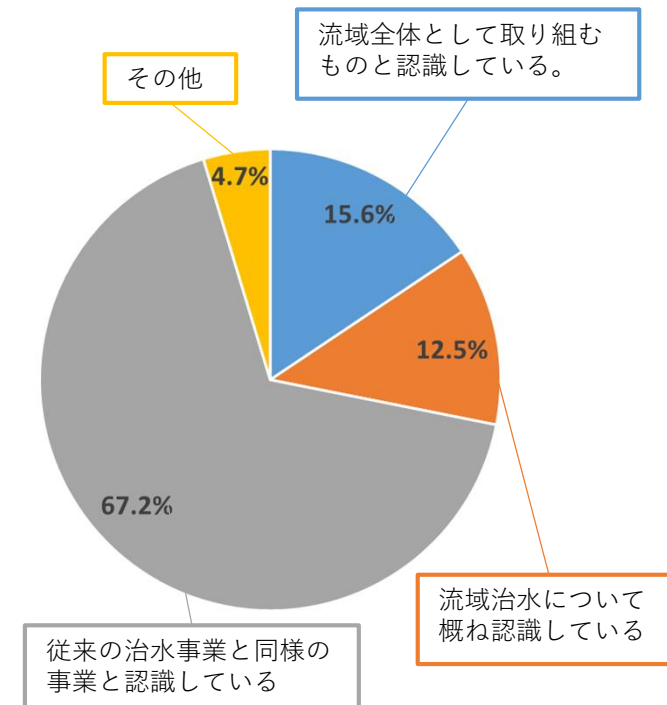
Q.『流域治水』という言葉を知っている？



Q. 施策別の認知度は？



Q.『流域治水』に関するイメージは？



・『流域治水』の単語・具体的な施策の認知＝**高**

・『流域治水』に対する正しい認識＝**低**

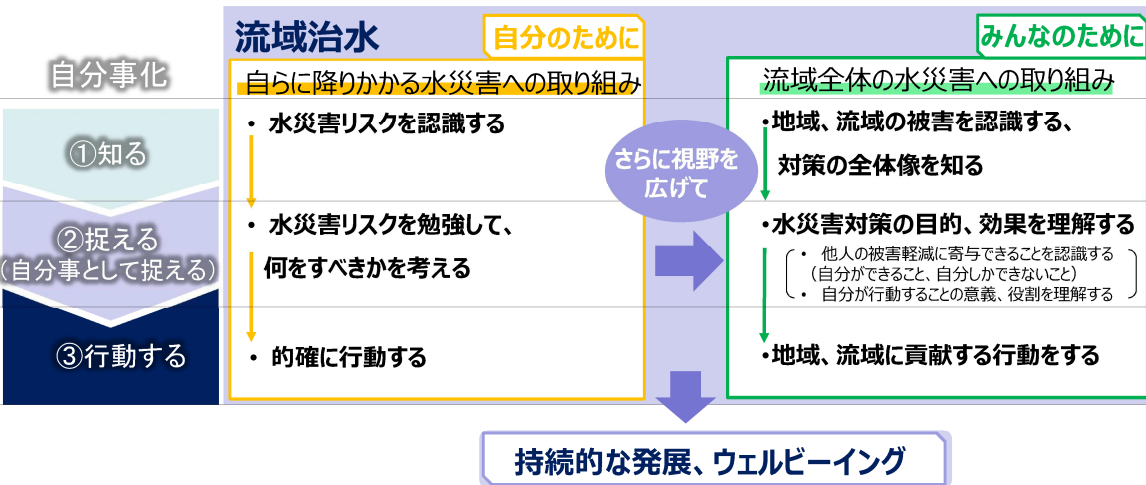
【今後の課題】従来の治水事業と変わらないという認識を持たれており、「あらゆる関係者が協働して流域全体で取り組む」といった認識が低い点 ⇒ **積極的な広報活動の実施**

○自分事化とは

流域治水の取組を一層推進するため、住民や企業等が自らの水災害リスクを認識し自分事として捉え、主体的に行動することに加え、更に視野を広げ、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させていくこと。  
あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有し、住民、企業等へ推進していきます。

○流域全体の水災害への取組へ

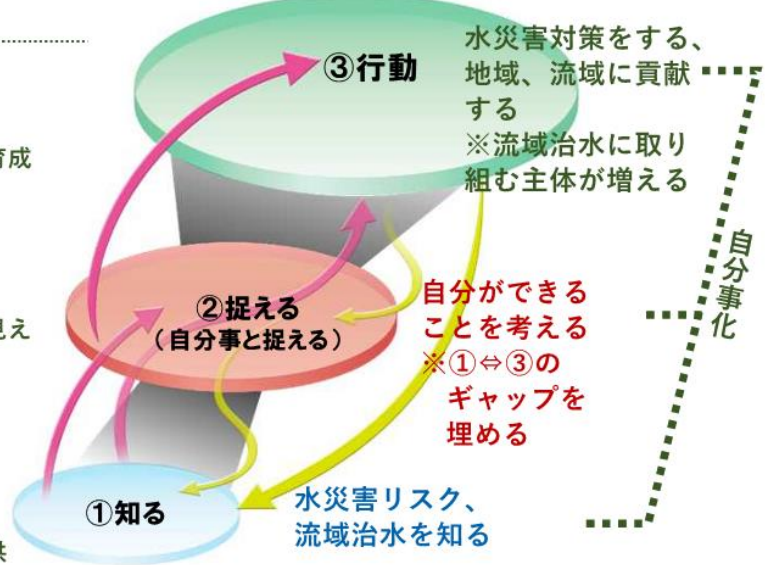
流域治水を推進する上で、自分事と捉えることが課題



流域治水に取り組む主体を増やすための取組方針

取り組みの例

- ・要件化・基準化
- ・トップランナーの育成
- ・流域治水への貢献
- ・ビジネスへの支援
- ・流域対策への支援
- ・取り組み、効果の見える化
- ・連携活動
- ・教育活動
- ・流域治水の広報
- ・リスク情報等の提供



「自分事化に向けた取り組み計画」 令和7年度版への更新

- 自分事化に向けた取り組み計画の作成  
「①知る機会を増やす」、「②自分事として捉えることを促す」、「③行動を誘発する」のプロセス毎に普及施策を体系化したもの。
- 自分事化に向けたロードマップの作成  
取り組み内容ごとの実施主体、実施時期を示したロードマップ。